

毎日小学生新聞

きょうの紙面

- チャレンジ考える力[社会] 2
- 学校で教えないキメわざウラわざ 3
- 工房が歩く[みんなの作品展覧会] 4・5
- 本を読もう 6・7
- あの人に会った[松井えり菜さん=写真] 8
- 1・2年生のページ A~D



毎日小学生新聞編集部
 お便り 〒100-8051(住所不要)
 電話 03・3212・3274
 ファクス 03・3212・2591
 メール maishou@mainichi.co.jp

発行所 毎日新聞社◎
 東京本社 東京都千代田区一ツ橋1-1-1
 定価 1か月1430円(1部60円)



福島原発の事故

経済ジャーナリスト

北村龍行



元毎日新聞記者・論
 説委員。週刊エコノミ
 スト編集部で17年間働
 いた経済通。著書に「借
 金棒引きの経済学」
 (集英社新書)など。
 横浜国立大卒。

東電は人々のことを考えているか

東京電力というひとつの会社が、日本
 で暮らす人々の生活や、日本の経済
 を危なくしている。

大きな会社が、危険にあうことはあ
 る。2008年のリーマンショックの後、
 アメリカの自動車会社のゼネラル・モ
 ーターズ(GM)は倒産して、国の会
 社になった。日本のトヨタ自動車も赤
 字になった。日本航空は、今も会社を
 立て直せるかどうかかわからない。

その結果、日本や世界の景気が悪く
 なって、仕事がなくなった人が増え
 た。しかし、それで人々が学校や会社
 に通えなくなったり、放射能がもれ
 て、もうこの場所では暮らせなくなる

のではないかという恐ろしさを感じさ
 せることは、なかった。

いま、たくさんの人々が、東京電力
 福島第1原子力発電所から放射能がも
 れる心配があるからと、自宅をはなれ
 て不便に暮らしている。その外側にい
 る人々も、最悪の事態を恐れている。

また、東京電力が3月14日から地域
 を分けて順番に停電することにしたの
 で、関東地方の鉄道会社はあわてて電
 車のタイヤを組み替えた。15日には、
 電車が止まったので会社に行けない人
 がたくさんいた。

それなのに東京電力は、その後も計
 画停電の内容を変えたり、福島第1原

子力発電所の事故をおさめることに失
 敗し続けている。

東京電力は、たった1社で関東地方
 を中心にした地域に電気を供給してい
 る。地域独占で、競争がない。

鉄道会社のようにお客さんの命を預
 かっているわけでもないし、お客さん
 から直接、文句を言われることもな
 い。経営は安定している。そのためか、
 危険が生まれた時に、どうすればいい
 のかという訓練を受けていない。

そんな会社に、危険もある原子力発
 電や、生活に欠かせない電気の供給を
 まかせていたことが、本当はとても危
 険なことだったのかもしれない。